

広告掲載基準

Creative Acceptance Policy

一般ガイドライン 第3版

■ 広告全般に関すること

- 法律（不当景品類および不当表示防止法、不正競争防止法、個人情報保護法、その他各種業法を含むがそれらに限定されません。）政令、省令、条例、条約、公正競争規約に対する違反またはその恐れがある場合は、掲載できません。
- 法律によって消費者に対する警告表示（利用者の年齢制限など）が必要とされているにもかかわらず、警告文が入っていない場合は掲載できません。
- 許可・認可を要する業種に必要な許可・認可を取得していない広告主は掲載できません。
- 社会秩序を乱したり、犯罪的行為に結びつくまたは誘発する恐れのある広告は掲載できません。
- 第三者を誹謗中傷、名誉毀損している広告は掲載できません。
- 内外の国家、民族などの尊厳を傷つける恐れのあるものは掲載できません。
- 差別発言を助長または促進する表現・内容は、その対象が個人または団体であるか、およびその主張が当該個人または団体の人種、性別、信条、国籍、宗教、性的指向、社会的地位または言語にもとづくものであるかを問わず、掲載できません。
- 醜悪、残虐、猟奇的で不快感を与えるおそれがあるものは掲載できません。
- レイプ、拷問、食人風習、苦痛または死、自傷、自殺、生々しいまたは暴力的なイメージを支持、助長、美化、または宣伝する広告は掲載できません。
- 性に関する表現で、著しく猥褻性の高いものや過度の露出などにより青少年の保護育成に反するおそれのあるものは掲載できません。
- 医療、医薬品、医薬部外品、化粧品、健康食品等の広告で、効能・効果等が厚生省の承認する範囲を逸脱している広告および消費者に過大な期待を抱かせたり、その効能を保証するような広告は掲載できません。
- 著しく射幸心をあおるような表現や過度の顧客誘引をはかるものは掲載できません。
- 本サイトの運営並びにマイクロソフトの企業活動を妨げるものは掲載できません。
- マイクロソフトおよび当該サイトが不適切だと判断したものは掲載できません。

■ クリエイティブ・リンク先に関すること

▶ 動画広告素材

広告素材が動画である場合には、利用者に不快感を与えるものは掲載できません。

- 視覚的に刺激の強い動画、急激なフラッシング

• 点滅による強調

• 反復的、単位時間の短い単純アニメーションの繰り返し、ループング

▶ 画像広告素材 I

広告素材について、外見上「見紛う」「紛らわしい」表現を含み、利用者の意思に反した動きや誤解を与える広告素材は掲載できません。

- ぼんやりした、または不明瞭なデザイン/ロゴ/イメージ。



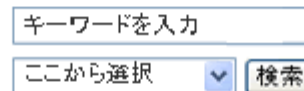
- OS・ブラウザ・その他ソフトウェア特有のパーツと見間違う恐れのある表現。
- 機能性があるように見えるが実際には機能しないイメージ。つまり、ドロップダウンメニュー、ラジオボタン、チェックボックスなど。

◆ チェックボックス、
」ラジオボタン

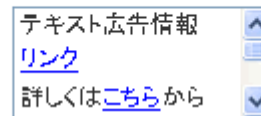


OSやアプリケーションソフトの
特有機能、パーツを模した表現は
掲載できません

◆ テキストボックス、
」ドロップダウンメニュー、
」ボタン



◆ テキストボックス、
」スクロールバー



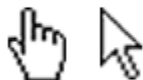
- コンピューターウイルスおよびワームに感染したような印象を与えるイメージ。ユーザーのコンピューターにインストールされていないに関わらず、破損したファイルが検出されたなど、ユーザーが使用しているコンピューターまたはシステムの詳細を把握しているふりをするクリエイティブ。

- ユーザーに対して間違った情報を与えかねない、事実に反する、または意味の無い表現 (日付が現実と異なっている、時間が現実と異なっている等)
- ポップアップ広告に見間違えうイメージ。
- Microsoft、MSN、または Windows Live イメージ/ロゴ/テーマは、広告内で使用または呼び出すことはできません。
- ユーザーが操作するマウスカーソルの変形・変色

OK例に則っている場合でも、総合的に判断し掲載不可とさせていただく場合がございます。ご了承ください。

○ OK例

× NG例



150%以上の拡大



同形状・同サイズ



30度以上の回転



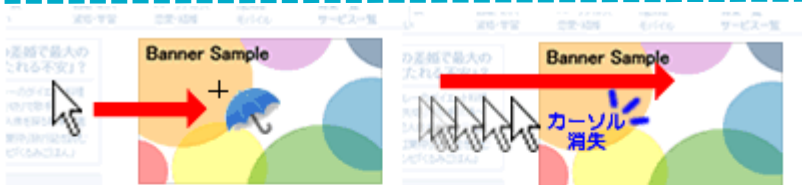
縮小



デザイン



見切れ



× マウスカーソルの変形

× マウスカーソルの消失



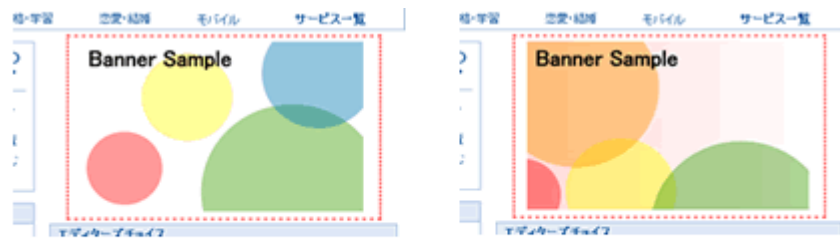
× マウスカーソルの変形・変色

× マウスカーソルの変形

▶画像広告素材Ⅱ

広告素材について、Microsoft、MSN、または Windows Liveのコンテンツやサービスの画面と類似し、ユーザーに誤解を招く部分が多いと判断される場合には掲載できません。

- 画像の四辺において枠線などの境界がなく、背景と同化し、ユーザーに対し明らかに広告であることが明示されていない。



枠線等がなくコンテンツと同化したり、グラデーションにより一部同化するものは掲載できません

- 画像の主要部分をMicrosoft、MSN、または Windows Liveのコンテンツあるいはサービスに似たものが占める。
- テキストリンクを模倣し、コンテンツと見紛うようなデザインを使用している。

おすすめ情報

[今すぐここをクリック](#)

[今すぐここをクリック](#)

[今すぐここをクリック](#)

コンテンツに見間違えうようなデザイン
またはコンテンツ風に見える表現は
掲載できません

〇〇〇株式会社からのお知らせ

画像

- 〇〇〇のお買い得な情報はこちらから
- ◎◎◎◎を使ってリフレッシュしよう
- △△△△は楽しみ方 いろいろ

詳しくはこちらをクリック

▶メッセージ

以下に該当するものは掲載できません。

- 広告主のロゴまたは広告主の社名などがなく、責任の所在が不明瞭である広告。
- 事実に反する、あるいは根拠の不明確な表現。
- 一般的に不快と感じられる、あるいは意味のない表現。
- 広告内に表示されている製品/サービスが含まれないリンク先。
- 提供されている製品/サービスを表していないテキスト。ユーザーに誤解を与える、または提供されている製品/サービスを予測できない表現。
- 広告素材またはそのリンク先ページに、特定のMSNユーザーの特典と見間違ふような表現を含むクリエイティブ（たとえば、“MSNユーザーに朗報です”“MSN ユーザー限定”のような表現が該当します）。
- その他マイクロソフトが不適切と判断した表現は掲載できません。

▶最大級あるいは絶対的な表現

最大級を意味する表現、絶対的な表現、あるいは他との比較による優位性を意味する表現については、根拠なしにこれらを使用することはできません。

原則として、公正かつ客観的で具体的事実に基づくものである、あるいはリンク先のサイトでこれらの表現について十分な説明がなされている必要があります。マイクロソフトではこれらの表現の正当性をすべて検証することはありませんが、必要に応じて根拠となる資料またはデータの提出を求める場合があります。

▶ナビゲーション/機能性

- ユーザーがブラウザの「戻る」あるいは「閉じる」ボタンを使用できないようにして、広告主のサイトから移動できないようにする、広告主のサイトに意図的に閉じ込めるようなリンク先サイトは掲載できません。
- 広告素材の掲載期間中、掲載しているクリエイティブ、またそのリンク先は、マイクロソフトの事前の承認なしに変更することはできません。

■プライバシー、所有権

- 個人を特定できる情報(PII)を収集する広告主は 個人情報保護法を遵守する必要があります。
- MSN/マイクロソフトユーザーの PIIデータは、対象を絞り込む目的で第三者に譲渡してはなりません。
- 第三者の財産権（知的財産権等）、プライバシーを侵害するものは掲載できません。
- 氏名、写真、談話および商標、著作物などを無断利用したものは掲載できません。
- 自社製品ではない製品をプレゼントキャンペーンなどに使用する場合は、広告主が事前にこうした使用に当たって問題がないことを確認していなければなりません。

これらはMicrosoft Advertiser and Creative Acceptance Policy（広告掲載基準）を抜粋したものです。

- Microsoft Advertiser and Creative Acceptance Policy（広告掲載基準）は、マイクロソフトアドバタイジングへ広告掲載を希望する広告主を対象とします。
- 掲載に際し、留意を要する業種・サービスに当たらない場合は原則掲載可能です。ただし、基準を満たしていても社会的な動向により、マイクロソフトが不適切だと判断したものは掲載できません。
- マイクロソフトは、いつでも、その理由を問わず、広告主または広告素材の掲載を拒否する権利を留保し、その理由を説明する義務を負わないものとします。
- 企業・クリエイティブの表現・内容により、掲載できない場合がございます。特定のサイトまたは特定の広告商品では、個別に規定を設けている場合がございます。これら弊社競合企業や商品についての規定は、随時アップデートが行われています。

詳しくは弊社担当営業までお問い合わせください。